

⑦企業名(氏名) 東海興業株式会社  
住 所 愛知県大府市長根町4丁目1番地  
⑦開発者 原 謙吾

⑤Int.Cl<sup>6</sup>: B60R

|                      |        |     |     |  |  |  |  |  |  |
|----------------------|--------|-----|-----|--|--|--|--|--|--|
| Int.Cl. <sup>7</sup> | B.62.D | 3.7 | 0.2 |  |  |  |  |  |  |
|                      |        |     |     |  |  |  |  |  |  |
|                      |        |     |     |  |  |  |  |  |  |

⑤名 称 :  
EPDM製エアスポイラー

[課題]

フロントバンパー下部に取付ける空力効果目的のエアスポイラーについて、従来は  
・全体を射出成形で作リ、クリップ等でバンパーに固定していたが取付工数がかかる、  
・長手方向に一定リップ長のため、車体の幅方向のセンター位置では、リップが空気の流れを悪くさせ抵抗となってしまう、  
・材質が樹脂製のため、縁石等と接触して傷付き、破損しやすい、  
等という問題があった。

そこで、このような問題を解決したい。

(2)整流リップ長が車体幅方向のセンター位置付近では短く、両端末部に向けて長くなっている。  
(3)材質がEPDM製である。

[効果]

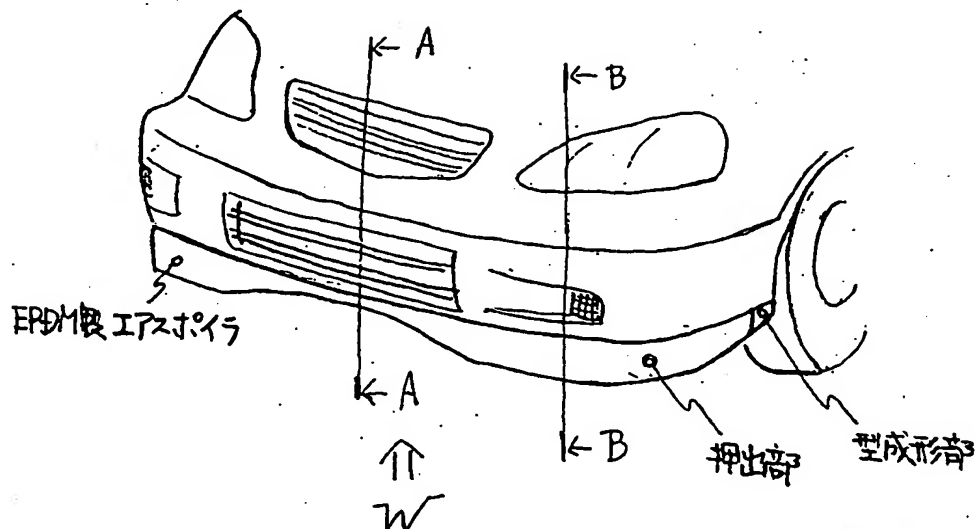
①一般部U字形状でバンパー凸部にはめ込むだけなので、取付工数が少なくて済む。  
②車体幅方向のセンター位置付近では下方の空気の流れがよく、タイヤ付近ではタイヤの空気抵抗が低減され、空力効果が向上する。  
③製品が傷付き、破損しにくい。

[構成]

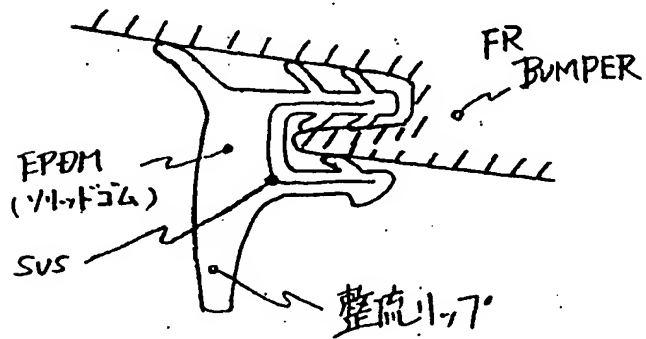
フロントバンパー下部に取付くエアスポイラーにおいて、

(1)一般部は押出成形によるU字形状でバンパー凸部に係合させ、射出成形による端末部はクリップによりバンパーに固定する。

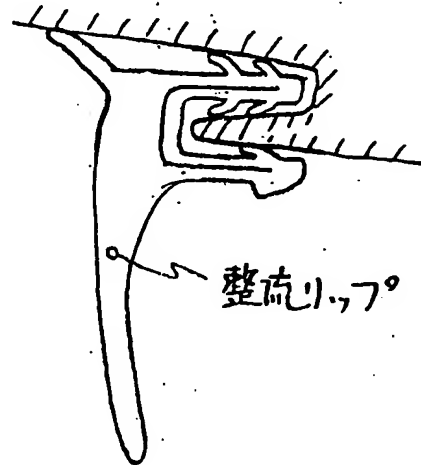
[図1]エアスポイラ取付状態の斜視図



[図2] A-A断面図



[図3] B-B断面図



[図4] [図1]をW方向から見た図

